

子供の作った

「いろはかるた」

岸和田市鳩巢園 佐藤 満壽

私の園では、子供の用ふる玩具を出来るだけ保姆や園児の手で作つて行きたいものと力をそゝいで居ります。

かように申すと、常に玩具の創作につとめて目新らしいものばかり作つてゐるやうで御座います。が、決して目新らしいものではなく、極めて平凡なものばかりで御座います、只私達園の者が、其内容に多少の興味と必要を感じてゐるやうなわけで御座います。

私達の作りましたものは、如何に子供からヒントを得たもので御座いまして、子供の作ったも

のに比べますと、全く恥しい思ひが致します、子供は、何か作ろうと考へました場合、いつも其技術なんか超越して勇敢に其目的に努力を拂つて居りますが、私達となりますと、どうも一つ／＼にその技術を批判的に見ます、そして、さて出来上つたものを眺めますと、最初考へたものとすつかり變つてゐるやうなことが多々あります、又私達が見て相當なものでも、子供から歓迎されない場合がよくあります、即ち、私達の作ったものは技術の上から見れば、子供よりづつと精巧して居りますが、子供の心を引きつけ、興味を持続して

行くだけの力を失つてゐます、然し、子供の作つたものになりますと、これと反對に、技術は未熟なものです、何んとなく着想と云ひ、其現し方が大人が見ても面白く、常に無邪氣であり、尊い子供の生活がはつきりと表現されてゐます、ですから、子供の間にも共鳴するところが多いだけに大變役立つので御座います。

茲に、私達が、大變うれしく感じまた教へられるところが多くありました子供の作品の興味のあつるものゝ一つを御紹介致します。

それは、今日一般に使用されてゐます『いろはかるた』で御座いますが、『いろはかるた』は實に興味深いもので、又多數の者が一時に遊ぶことが出来る、と云ふ點から今日は其種類も非常に多く、廣く用ひられて居ります、私の園でもこれを用ひたいものと思ひましたが、どうもこれと云ふ思はしいものが見當りません、そこで、私達の考

への及ぶところまで園で一つ作つて見たいものと考えたので御座います。

まづ最初保母達の頭で作つてみたので御座います、そして簡單にして要を得、且つ興味あるものと思ひまして、色々と三四人の者が集つて頭を練つてみましたところ、中々むづかしく、中にはこじつけたやうなものまで出來ました、兎も角一通り作り上げまして、それから、私達の目的とする子供達にこれを話し、まづ頭字を一字々々示して其言葉を子供から求めました、ところが出るごとく、大變な、さ、わ、ぎで御座いました。

▽石をけつて、石けりませう。

▽ろうそくたて、行きませう。

▽りんごのやうな、赤い顔。

▽ちいやのちいを、のみませう。

▽ぬれた着物を干させう。

などと、次から〜といくらでも出て來ます、そ

ここで私達は、その中から面白さうなものを選んで
まとめ、行きました、中には

▽へそはみんなに、ついてます。

▽ふるへると、さむがり。

▽蟻は小さい、豆くそよ。

等々、大變な思ひもつかぬ奇抜なものが澤山出
來ました。

そして出來上つてから、私達の作つたものと比
べてみますと、其のねらひどころがあまりにはつ
きりと違つてゐるので御座います。

それは、一言をもつて言へば、私達のものはず
べて堅若しく、教訓的のものばかりになつて居り
ます、そして一方、子供の方をみますと、卒直な
言葉をもつて叫ばれた純真な子供の生活の記録と
なつてゐます、こうなると、私達のものはこの場
合問題ではありません、「教訓的のかるた」となれ
ば、とるべきところもありませうが、もつと廣い

意味において、相當興味あつて價値あるものとな
れば、子供の作つたものは満點と申してもよろし
いでせう。

なぜならば、興味の點から云へば、子供自らが
作つただけに一層子供達に喜ばれ、價値の點から
言へば、知らず識らずの間に文字を會得が出來、
(この點はいづれのかるたも變りないでせう)子
供自らの立派な觀察の記録になつて居るので御座
います。

かやうにして、言葉が出來ましたので續いて、
これにふさはしい畫を描かせたので御座います
が、これも子供達は大變喜んで描きました、中に
は一氣に一人で全部の畫を描くすばらしい子供も
ありました、また、平素あまりに畫を描くことを
好まなかつた子供まで得意となつて描きました。
これには意外な經驗を得たので御座います、然し
いづれも簡単な畫ではありましたが、其の言葉の

説明が相當に現されてゐました、

何分『いろはかるた』は一組でも言葉と畫を描きますと、かなりの手数がかゝりましたが、まづ、最初幼稚園で使用するものを一組完成しまして、引續き子供の數だけのものを作りまして園児の家庭にそなへました。

一度皆様方に一つ／＼お目にかけて色々とお御批判を仰ぎたいと存じてゐますが何分紙上によることとして其意を得ません、誠に残念至極ですが便宜上其言葉だけを次に御紹介申します。

×

いしをけつて、石けりをしませう

ろうそくたてゝ、行きませう

はなに水を、やりませう

にんぎよあそびは、おもしろい

ほんをたくさん、よみませう

へそはみんなに、ついてます

とうさんの帽子、かむりませう

ちゝやのちゝを、のみませう

りんごのやうな、赤い顔

ぬれた着物を、干しませう

るりちやんのやうに、おとなしく

あてゝをきれいに、洗らひませう

わを廻して、遊びませう

かるた遊びは、おもしろい

よるの道は、くらい道

たらひに水を、くみませう

れんげの花を、つみませう

そらには飛行機、とんでます

つみ木をつんで、あそびませう

ねづみはチュウ／＼、ないてます

なわをつないで、電車ごとしよ

ラヂオを聞いて、遊びませう

むかし話の、浦島さん

うたを歌つて、踊りませう
ぬどの水を、くみませう
のはらに行つて、花摘みませう
お菓子貰うたら、うれしいな
くりを買ふて、たべませうや
やまず鳩巢園に、まわりませう
まけても勝つても、おもしろい
けんくして、遊びませう
ふるへると、寒むがり
こどもはよく、あそびませう
えほんを讀んで、遊びませう
てじなをして、遊びませう
あとは小さい、豆くそよ
さようなら、又入らつしやい
さしやにのつて、行きませう
ゆきが降つたら、雪だるま
めでたい日には、旗をたて

みんな仲よく、いたしませう
しつかり角力を、とりませう
ゑひがさゝして、行きませう
ひばちの火に、あたりませう
もゝから生れた、桃太郎
せみがミンく、鳴いてます
すなで山を、こしらへませう
京の五條の橋のうへ

